

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年 8月 31日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	松浦企業株式会社
所在地	神奈川県横浜市鶴見区寛政町1番6号
代表者役職・氏名	代表取締役 松浦 泰弘
担当者連絡先	電話：045-521-5134 (担当：中村 勇太)
	メール：nakamura_y@matsuurakigyo.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.matsuurakigyo.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>昭和10年3月に砂利・石材の販売から出発した当社は、現在、「港湾工事」と「建設資材の採取販売」を二本柱として事業を行っています。</p> <p>「港湾工事」では、横浜・東京の港を中心に、自社船の「第七金剛丸」「第三隆盛丸」を用いた浚渫工事や、防波堤やケーソン等の構造物工事の請負事業を実施しています。</p> <p>「建設資材の採取販売」では、千葉県富津市と鋸南町に採取場を所有し、生コンやアスファルトの材料となる砂や碎石等を建設骨材として、主に神奈川県の生コン・合材工場に供給しています。</p>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	所有船を改良し（操作系統の電子化、コンピュータによる操作）、クレーン運転を自動・自律化することで、生産性の向上と、オペレータの負担軽減を図る。	浚渫作業船クレーン運転（昇降・開閉・旋回・起伏）の自動・自律化 【現状】0隻 【目標】1隻（第七金剛丸）
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	電気自動車（EV）を導入することで、CO2排出量の削減を図る。	EV車両数 【現状】0台 【目標】3台
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	町内会等の清掃活動に参加し、地域貢献を図る。	清掃活動 【現状】0回/年 【目標】2回/年



カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・自社浚渫船(第七金剛丸)にて、発生したし尿を処理し、処理した水をオゾンで殺菌して洗浄用水及び緑化スペースに散水再利用している。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・自社浚渫船(第七金剛丸)にて、太陽光パネルを設置し、発電された電気を発電機の負荷低減に活用している。また、照明設備にはLEDを採用し消費電力を抑制している。							7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・いちご狩り農園(富津アクアファーム)にて、使用した培土を太陽熱処理することで、廃棄せず翌シーズンの栽培に再利用している。また、栽培に必要な養液を循環利用している。										12.2	13	14	15				
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9							12.4							
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・品質マネジメントに関する認証「ISO9001」を取得している。												9					
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6				12	13	14	15				
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・いちご狩り農園(富津アクアファーム)では、子供やベビーカー・車椅子の方が利用できるように、通路を広くし、いちごを上下二段に分けて栽培する等、配慮した施設としている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・横浜港災害対策支援協議会に所属し、横浜港において激甚な自然災害が発生した際に、応急対応で必要となる建設資機材、技術者及び労働力を提供できる体制を整えている。				4						9	11	12	14	15		17	
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・横浜市のウクライナ支援募金活動に賛同し、支援金を贈呈している。 ・創業者(故・松浦信太郎)が収集した美術品を、横浜美術館に寄贈している。				4							11		14	15		17	
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・いちご狩り農園(富津アクアファーム)では、地元の富津市において、「ふるさと納税」の返礼協賛商品として冷凍イチゴを提供している。									8	9	11	12	13				



## SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 神奈川県横浜市鶴見区寛政町 1-6

名称： 松浦企業株式会社

代表者： 代表取締役社長 松浦 泰隆

登録年月日： 2022年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	所有船を改良し(操作系統の電子化、コンピュータによる操作)、クレーン運転を自動・自律化することで、生産性の向上と、オペレータの負担軽減を図る。	浚渫作業船クレーン運転(昇降・開閉・旋回・起伏)の自動・自律化 【現状】0隻 【目標】1隻(第七金剛丸)	【現状】1隻(第七金剛丸) 2023.09.19搭載
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	電気自動車(EV)を導入することで、CO2排出量の削減を図る。	EV車両数 【現状】0台 【目標】3台	【現状】0台 【目標】3台
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	町内会等の清掃活動に参加し、地域貢献を図る。	清掃活動 【現状】0回/年 【目標】2回/年	【現状】1回/年 2022.12.16実施 【目標】2回/年